

平成18年度使用中学校用教科用図書採択結果について

採択地区名 府中市

種目	発行者	採 択 理 由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の単元数をみると、全学年5単元配置し、4単元を「書くこと」のみの単元に、1単元を他の領域と関連させた「書くこと」の単元に配置している。 ・「書くこと」に力を入れており、書き方や手順が提示され、分かりやすい。論理的思考力を育てるためにも「書くこと」の役割は大きい。 ・単元目標は、学習を深めるために精選されている。 ・三領域の事項ごとのページ数で比較すると「読むこと」もページ数が比較的多く、「読むこと」にも力を入れている。 ・「読むこと」の題材は、広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚を持ち、国際協調の精神を養う視点からも考えられており、バランスがよい。 ・3領域と言語事項の内容で見ると、学習内容を深めたり確かめたりする巻末資料がバランスよく豊富である。文学史も充実している。 ・発展的な学習に高等学校へのつながりが明記してある。
書写	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の姿勢、筆の持ち方、筆遣いなどの基本が分かりやすく記載されている。 ・興味・関心を高め自ら学ぶ手立てとして、「これから学ぶこと」により、各学年の学習のねらいや教科書の構成を示し、また「学習の進め方」で目標に対する取り組み手順を細かく提示している。 ・学習内容のまとめりにチェックのできる振り返り欄を設けている。
社会 (地理的分野)	大書	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県に関する記述と資料をみると、広島県の市町村合併の様子などの資料が8つあり、他社に比べて多い。このように身近な資料が記載されていることは、生徒の興味・関心を高めることにつながる。 ・資料が数多くあることは、生徒の調べる意欲を低下させることになりかねない面があるが、本書は精選された資料が適切に配置され、色彩も落ち着いておりすっきりとして見やすい。 ・各編末に「学習を整理しよう」を設けて、基礎的・基本的な学習内容や調べ方の確認とその定着を図る工夫をしている。 ・「ズームイン」と「大きくジャンプ」を設けて発展的内容に対応する工夫をしており、事例数も多くある。
社会 (歴史的分野)	大書	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な資料として「草戸千軒町遺跡」や「原爆投下」の記載があり、生徒の興味・関心を高めることにつながる。 ・裏返しには、10か所の「日本の世界文化遺産」を取り上げ、世界に誇る日本の文化遺産を紹介している。 ・「なぜ」「どうして」という疑問の形で歴史を見る視点を示し、生徒の思考力、判断力を育てるため、多面的・多角的に考察させる工夫がされている。 ・思考を深めたり、視野を広げるための発展的な学習を「歴史を掘り下げる」や「チャレンジ学習」として設定し、事例数も他社に比べ非常に多い。 ・ホームページのURL - 「チャレンジ学習」のページに1件、巻末に「学習に活用できるホームページ」として、博物館、遺跡、資料館など81件を掲載している。

<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>大書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査方法の記述数や内容が豊富であり、身近な記述として安芸高田市の市町村合併の他、原爆ドームや平和記念式典等の広島県に関する記述や写真が充実している。 ・「国旗及び国歌に関する法律」について本文に記載し、その内容を側注に載せている。 ・思考を深めたり、視野を広げたりするための発展的な学習として、「ズームイン」を設定し、「ネット社会とつきあうために」や「15歳のハローワーク」等、生徒自身が直面する課題が数多く取り上げられている。 ・金融のしくみ等、生活と経済に係る内容が充実している。
<p>地図</p>	<p>帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読図に関しては、「世界・日本の地図記号の凡例」で地図記号についての説明があり、文字の大きさも適当でわかりやすい。土地利用の明記もある。 ・適切な色合いで見やすいものになっている。また、表記や土地の比較などの提示においてもわかりやすい構成になっている。 ・大きな見開きページを取り入れ、クローズアップされた地図が活用できる。
<p>数学</p>	<p>大書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図るための工夫として、図を取り入れて分かりやすく説明している。例えば、3学年「平方根の加減」では、面積図と文字式とを比較しながら平方根の概念を指導するようになっており、提示された面積の図は生徒に理解しやすい。 ・各章毎に学習内容をふり返り、最後に練習問題に取り組みることが一貫して位置づけられている。練習問題は非常に精選されており、基礎・基本から発展問題までバランスがよい。
<p>理科 (第一分野)</p>	<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元のまとめ」では、チェック欄を設けるとともに付録の赤色シートを使用し、反復学習ができるようにしている。 ・生徒が観察・実験等の活動に、目的意識をもって、主体的に取り組めるよう「予想してみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「思い出してみよう」の活動の場を設けている。 ・観察・実験は、「方法」「結果」「考察」の一貫した流れをつくり、わかりやすい。 ・他社より横幅が大きく、余白を取ることで写真や図などがすっきりして、わかりやすい構成になっている。 ・発展的な学習内容の分量が、ページ数・項目数が多いことに加えて、読み物が単元の中と終わりに同程度配置され、観察実験は単元の終りと巻末に配置されている。
<p>理科 (第二分野)</p>	<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元のまとめ」では、チェック欄を設けるとともに付録の赤色シートを使用し、反復学習ができるようにしている。 ・生徒が観察・実験等の活動に、目的意識をもって、主体的に取り組めるよう「予想してみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「思い出してみよう」の活動の場を設けている。 ・観察・実験は、「方法」「結果」「考察」の一貫した流れをつくり、わかりやすい。 ・他社より横幅が大きく、余白を取ることで写真や図などがすっきりして、わかりやすい構成になっている。大きさを活用して、スケッチの良い例・悪い例を示し、詳しくものを観察することの具体例を掲載している。 ・発展的な学習内容の分量が、ページ数・項目数が多いことに加えて、読み物が単元の中と終わりに同程度配置され、観察実験は単元の終りと巻末に配置されている。

<p>音楽 (一般)</p>	<p>教 芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発声のポイントについて、「歌声セミナー」を設けて全学年にイラストやキャラクターで発達段階に応じて示しており、技術的な説明が非常に分かりやすい。 ・歌唱教材の歌詞の説明がていねいに提示してある。(例:「仰げば尊し」等) ・鑑賞教材も豊富であり、クラシックの鑑賞では、分かりやすい解説を付け、クラシックが身近に感じられる構成になっている。 ・国歌「君が代」がどの学年の教科書にも掲載されている。 ・各学年に「心の歌」と題して、「日本の歌を歌いごう」を掲載している。そして、「花の街」や「赤とんぼ」を見開きで示し、情景あふれる写真を掲載し、歌詞と情景が結びつくよう工夫されている。
<p>音楽 (器楽合奏)</p>	<p>教 芸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を、文字の色を変えたりして表記している。また、目標達成のための支援として、予想される疑問を Q&A 方式で示しているため、自分で学びやすい。 ・小学校でのリコーダーの学習を生かし、まずアルトリコーダーにより音感や音の出し方をマスターし、それから他の楽器へ進む構成になっている。 ・多様な音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てることを目標の一つにしているが、参考資料としてDTM(デスクトップミュージック)を載せている。 ・題材数、内容とも精選され、レッスンが系統的に示されている。 ・和楽器については、三年間で一種類以上の楽器指導が必要であるが、授業時間からすると、指導しやすい太鼓や琴等に重点を置いている。
<p>美術</p>	<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの各ページの左上に大きく表題が入り、その右に観点別の目標がわかりやすいことばで示されおり、学習のねらいが明確である。 ・日本美術文化の扱いでは、日本の文化や異なる文化を理解させるよう構成されており、時代に沿って流れがつかみ易いよう工夫している。中でも、見開きの「日本の美術と世界」では、日本の美術文化を中心に位置づけ、日本の美術と中国や西洋等との関係がよく分かる。 ・興味・関心を喚起する工夫として、色合いの美しい鮮やかで楽しい図版が集められていて、飽きさせない構成になっている。また、楽しい生徒作品を多数掲載し、あえて解説や説明を省いて、自分なりの感じ方ができるようにしている。 ・日本の伝統的作品を精選して掲載し、日本の美のすばらしさを伝えている。
<p>保健体育</p>	<p>学 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵で、何を学ぶのか(生命、健康、環境等)について、印象的な写真とともに提示している。 ・単元で学習する内容について「質問と回答枝」が用意され学習の動機づけを行っている。各学習の「課題をつかむ」では、具体的で生徒の思考を促す発問形式をとっている。その課題をつかむために、イラスト・写真・図・表・グラフなどを提示している。この一連の提示の仕方は、学習課題をつかみやすく分かりやすい。 ・健康・安全に付いての知識・理解を図るための工夫として、日常生活の具体例をイラストを使用して分かりやすく説明している。さらにコラム欄も設け、説明を補足している。 ・生涯スポーツの観点からも、スポーツを楽しむことを意図して編集されている。 ・心の発達について、自分自身を見つめる活動を取り入れており、お互いの課題を解決できるように工夫している。

<p>技術・家庭 (技術分野)</p>	<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「この章で学ぶこと」「ここでの学習」により学習の目標が明確に示されており、生徒に学習課題をつかませやすい。また、題材ごとに「学習のまとめ」を設け、生徒自身が学習状況を「A・B・C」3段階でふり返ることができるようになっている。 ・マークによって「深めよう」「一口メモ」などを設定し、分かりやすくていねいな説明をすることで、生徒の知識・理解を深めようとしている。 ・コンピュータのマナーについて、イラストを用いて興味・関心を引くように記載しており、わかりやすい。 ・安全マークを数多く取り入れ、安全への配慮が十分である。 ・ものづくりに力を入れて編集している。
<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「この章で学ぶこと」「ここでの学習」により学習の目標が明確に示されており、生徒に学習課題をつかませやすい。また、題材ごとに「学習のまとめ」を設け、生徒自身が学習状況を「A・B・C」3段階でふり返ることができるようになっている。 ・衣食住に関する基礎的な知識や技能を身に付けるために、実践的・体験的な学習が豊富に取り入れられている。また、実習の手順も明確に示されている。 ・野菜のいろいろな切り方の資料を見ると多くの種類を掲載し、見やすくわかりやすい。また、全体的に写真、イラスト等の配列・構成がよく、見やすい。
<p>英 語</p>	<p>東 書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の基礎・基本の定着を図るために、英文が平易で分かりやすい。基本文が本文中に繰り返され、定着しやすいよう工夫されている。 ・第1学年では、題材を生徒の身近な生活場面に設定するなど、発達段階への配慮がなされている。 ・日常・学校生活、国際理解、異文化理解、環境問題等、豊富な題材を用いている。 ・1単位時間及び年間で学習する内容・分量としては、新出単語、各セクションでの英文の分量とも適当なものになっている。 ・ユニットのまとめの部分に、基本文型や重要な表現、文法事項等が簡潔に整理されており、復習しやすい。